

学生・アクション ラーニング



実践農学入門はじまる

昨年度開講できなかった食農コープ教育プログラムの実践農学入門、本年度も幾度かの延期を乗り越え、やっと西紀北地区に伺うことができました！

14軒の農家さんに受け入れていただき、50人の神戸大生と10人の篠山東雲高等学校の2年生が班に分かれて、さまざまな農作業を体験しました。黒豆の土寄せや除草、栗園の草刈り、農家民宿の芝生張り、ハーブの採取にブドウのわき芽取り…。

最初は初めての作業に不安そうでしたが、帰りは「また来たい」と学生たち。これから冬まで、全6回の現地実習が続きます。
(; さん：神戸大学農学研究科特命准教授)



コロナ対策のため、交流会なしで初回から班活動でしたが、帰りの集合ではにぎやかに記念写真を撮りました！

丹波篠山 9月号